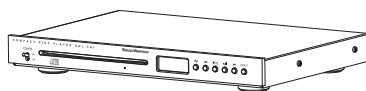


## 取扱説明書



## 目次






はじめに	安全上の表示説明 安全上のご注意 取扱上のご注意 CDの取り扱い 用語の解説	2
各部の名称と機能	前面 後面 リモコン	4
接続する	本機と外部機器との接続 1 ANALOG OUT 端子の接続 — ANALOG OUT — 2 DIGITAL OUT OPTICAL 端子の接続 — DIGITAL OUT — 3 DIGITAL OUT COAXIAL 端子の接続 — DIGITAL OUT — 4 DIGITAL IN OPTICAL 端子の接続 — DIGITAL IN — 5 DIGITAL IN OPTICAL 端子の接続 — DIGITAL IN — 6 DC OUT 端子の接続 — DC OUT —	5
操作と調整について	基本的な表示 CDを再生する デジタル入力を聴く サンプリング周波数の表示 エンファシスの表示 リモコンで音量を変える	6
各種設定	設定モードに入る 音量を設定する 輝度を設定する スクリーンセーバー（画面の焼き付き防止）を設定する デジタル出力を設定する 起動時の自動再生を設定する CD挿入時の自動再生を設定する	9
お困りの時は	CDが読み込めない 入力信号が認識されない（Opt/Coax） 音声が出力されない／音量が小さい アフターサービス	10
仕様	仕様	11

# はじめに

## 安全上の表示説明

### 絵表示について

本機を安全にご使用頂くため、またお客様や他の人々への危険や損害を未然に防ぐために、次のような表示をしています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

 <b>警告</b> .....	この表示を無視して使用すると、死亡または重症を負う恐れがある内容を示しています。
 <b>注意</b> .....	この表示を無視して使用すると、障害を負う、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 .....	製品の取り扱いに於いて諸注意を促す内容を示しています。
 .....	製品の取り扱いに於いてその行為を禁止とする内容を示しています。
 .....	製品の取り扱いに於いてその行為を強制する内容を示しています。

## 安全上のご注意

### 警告

#### 異常に気がついたら、ACアダプターをすぐに抜いて下さい

煙や異常な臭い、異常な音のするときはすぐにACアダプターを抜いて下さい。  
この場合すぐに販売店若しくは城下工業株式会社(以下当社)へ修理の依頼をして下さい。



#### 放熱を妨げないで下さい

布をかけたり、狭い場所など通気性の悪い場所に設置したりしないで下さい。火災の原因となることがあります。



#### 屋外や風呂場等での使用は絶対にお止め下さい

内部に異物や水が入りますと感電・故障・火災等の原因となりますのでお止め下さい。もし異物や水が入り込んだ場合はすぐに電源を切り、販売店若しくは当社にお問い合わせ下さい。



#### お客様での分解、修理絶対にお止め下さい

お客様によるカバー、本体の分解修理はお止め下さい。点検・修理等は必ず販売店若しくは当社へご相談下さい。



#### 本機付属以外のACアダプターは使用しないで下さい

火災や感電の原因となります。



#### ACアダプターに布をかぶせたりコードの上に物を置いたりしないで下さい

ACアダプターの発熱やコード破損により、火災や感電の原因となることがあります。



#### ACアダプターのプラグは確実に差し込み、定期的に清掃して下さい

ほこりが溜まる配線がショートし、関電・故障・発熱発火による火災の原因となります。



#### 雷が鳴りだしたら触れないで下さい

本機、接続機器、接続コード、ACアダプターに触れないで下さい。感電の原因となります。



## ⚠ 注意

### 不安定な場所に設置しないで下さい

落下によるけがの原因となります。また十分な放熱を確保するため、壁や他の機器から離れた場所に水平に設置して下さい。



### 環境の悪い場所に置かないで下さい

湿気やほこりが多い場所、調理台や加湿器のそば、油煙や湯気が当たる場所などに置かないで下さい。火災・感電の原因になることがあります。



### ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないで下さい

感電の原因となります。抜くときはコードを引っ張らず、プラグを持って下さい。長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いて下さい。



### お手入れの際はACアダプターを抜いて下さい

本体の清掃はアルコールやシンナー等は使用せず、固く絞った雑巾で拭いて下さい。



### レンズクリーナーは使用しないで下さい

また、ディスク挿入口には異物を入れないで下さい。故障の原因となります。



## ⚠ 注意

右のロゴマークの付いたコンパクトディスク（CD）をご使用下さい。CD-R および CD-RW の場合は CD-DA 記録され、クローズ（ファイナライズ）されている必要があります。



CD-R および CD-RW は、ディスクの劣化により読み込みなくなることがあります。

SACD は再生できません。またコピーコントロール CD（CCCD）は再生できない場合があります。

MQA-CD 再生時のデジタル出力を MQA 対応 DAC に入力すると、MQA 検出エラーやノイズが発生します。

CD 規格外の形状のディスク（名刺形、デュアルディスク）や 8cm ディスク、シールやテープを貼ったディスクを使用しないで下さい。故障やディスクが取り出せなくなる原因になります。

ディスクが汚れている場合は、市販のディスククリーニングキットや柔らかい布などで拭き取ってから挿入して下さい。アナログレコード用スプレーや帯電防止剤、ベンジンやシンナーなど揮発性の溶剤や薬品は使用しないで下さい。

## 用語の解説

### ブリエンファシス CD

S/N を改善するため、オーディオ信号の高域成分を増幅して記録された CD です。再生時に高域成分を元のレベルに戻します（ディエンファシス）。

### S/PDIF

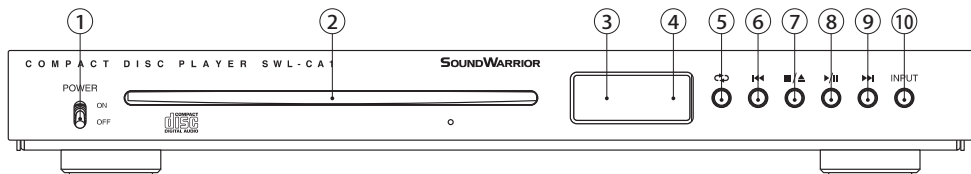
映像および音響機器間でデジタル音声信号を伝送する規格です。デジタル同軸ケーブルまたは光デジタルケーブルを使用します。本機のデジタル入力端子はリニア PCM（LPCM）データにのみ対応していますが、映像機器では非 PCM データ（AC-3、DTS など）が伝送される場合があるため注意が必要です。

### サンプリング周波数

アナログ信号をデジタル信号に変換する際の、単位時間当たりの標本化頻度です。CD-DA 規格のオーディオ CD では、サンプリング周波数は 44.1kHz です。

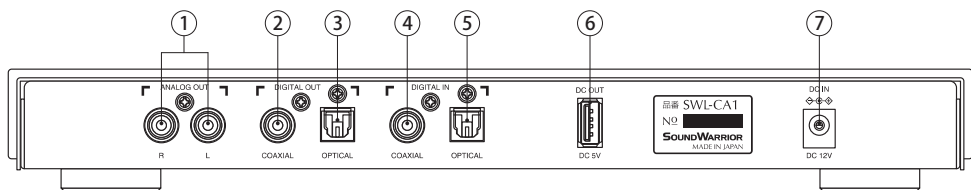
# 各部の名称と機能

## 表面



- ① 電源スイッチ  
上：ON  
下：OFF
- ② ディスク挿入口
- ③ ディスプレイ  
各種情報を表示
- ④ リモコン受光部  
リモコンの赤外線信号を受信
- ⑤ リピートボタン  
繰り返し再生の設定
- ⑥ REWボタン  
短押し：前曲にスキップ  
押し続ける：戻りサーチ再生
- ⑦ STOP/EJECTボタン  
再生中：再生を停止  
停止中：ディスクを排出
- ⑧ PLAY/PAUSEボタン  
再生中：再生を一時停止  
停止中：再生を開始
- ⑨ FWDボタン  
短押し：次曲にスキップ  
押し続ける：送りサーチ再生
- ⑩ INPUTボタン  
短押し：再生する音源を選択  
押し続ける：設定画面に切り替え

## 裏面



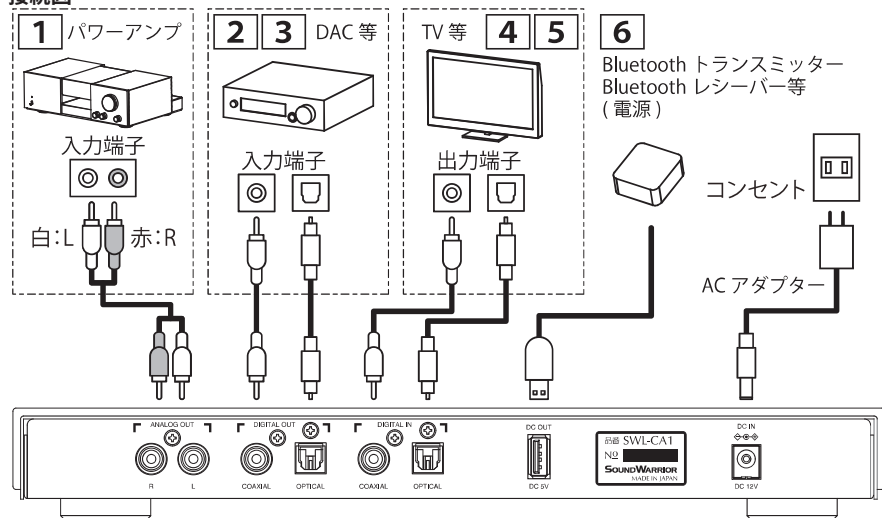
- ① アナログ出力端子
- ② デジタル同軸出力端子
- ③ デジタル光出力端子
- ④ デジタル同軸入力端子
- ⑤ デジタル光入力端子
- ⑥ DC出力端子
- ⑦ 電源入力端子

## リモコン

- ① リピート 繰り返し再生の設定
- ② EJECT ディスクの排出
- ③ REW  
短押し：前曲にスキップ  
押し続ける：戻りサーチ再生
- ④ STOP 再生を停止
- ⑤ CD CDを選択
- ⑥ + アナログ出力の音量を上げる
- ⑦ - アナログ出力の音量を下げる
- ⑧ FWD  
短押し：次曲にスキップ  
押し続ける：送りサーチ再生
- ⑨ PLAY/PAUSE  
再生中：再生を一時停止  
停止中：再生を開始
- ⑩ COAX COAXIAL入力を選択
- ⑪ OPT OPTICAL入力を選択

# 本機と外部機器との接続

## 接続図



## 1 ANALOG OUT端子の接続 — ANALOG OUT —

付属のステレオケーブルでパワーアンプと本機を接続します。左右 (L R) があります。間違えないよう確実に接続して下さい。接続前に、全ての機器の電源が切れていることをご確認下さい。

## 2 DIGITAL OUT OPTICAL端子の接続 — DIGITAL OUT —

D/Aコンバーター等を接続します。角形デジタル光ケーブル (別売) で接続可能です。

## 3 DIGITAL OUT COAXIAL端子の接続 — DIGITAL OUT —

D/Aコンバーター等を接続します。デジタル同軸ケーブル (別売) で接続可能です。

## 4 DIGITAL IN OPTICAL端子の接続 — DIGITAL IN —

デジタルオーディオ機器やテレビなどを接続します。角形デジタル光ケーブル (別売) で接続可能です。

## 5 DIGITAL IN COAXIAL端子の接続 — DIGITAL IN —

デジタルオーディオ機器などを接続します。デジタル同軸ケーブル (別売) で接続可能です。

## 6 DC OUT端子の接続 — DC OUT —

Bluetoothトランスミッターやレーザーなどの外部機器に電力を供給できます。大電流を流すと本機の動作が不安定になったり停止したりする場合があります。またUSBハブを使用すると電力供給できない場合があります。USB機能はありません。(CDのリッピングやUSBメモリ内の音源再生などはできません。)

※安全のため、付属のACアダプター以外は使用しないで下さい。

# 操作と調整について

## 基本的な表示

### 電源を入れた時



ディスプレイに SOUND WARRIOR ロゴが表示されます。

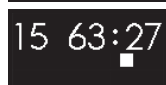


ディスプレイにファームウェアバージョンが表示されます。

### CD が選択されている時



CD が挿入されている場合はディスプレイに「Reading」が表示され、ディスク情報の読出しが始まります。



ディスプレイにトラック番号と時間が表示され、再生可能な状態になります。



ディスクが挿入されていない場合は「No Disc」が表示されます。

### OPTICAL が選択されている時



「Opt」が表示されます。

### COAXIAL が選択されている時



「Coax」が表示されます。

## CD を再生する

### 【MQA-CD を再生する場合】（MQA のデジタル出力には対応していません）

本機のデジタル出力を外部の MQA 対応 DAC に入力した場合、MQA が正しく検出されずノイズが発生することがあります。本機のデジタル出力は、MQA 非対応の DAC に入力してください。

### 通常の再生

INPUT ボタンで入力を CD に切り替え、ディスク挿入口に CD を挿入すると再生が始まります。\*ディスクに傷がある場合や CD-R などは正常に読出せない場合があります。



### 一時停止する

再生中に PLAY/PAUSE ボタンを押すと次の曲を再生します。



### 曲をスキップする

FWD ボタンを押すと次の曲を再生します。

REW ボタンを押すと現在の曲を始めから再生し、続けてもう一度押すと前の曲を再生します。



### 聴きたい部分を探す（サーチ再生）

REW ボタンを押し続けると早戻し再生します。

FWD ボタンを押し続けると早送り再生します。



### 聴きたい曲を探す

PLAY/PAUSE ボタンを 3 秒以上押し続けると CD の 1 曲目から順に 10 秒間ずつ再生します。（曲の中間から再生します。）聴きたい曲の再生中に再度 PLAY/PAUSE ボタンを押すと、その曲の先頭から再生が始まります。

## 繰り返し再生する

リピートボタンを押すとリピートモードが変わり、ディスプレイに表示されます。

### リピートOFF

ディスクを1回再生して停止します。



全曲リピート  
全曲を繰り返し再生します。



### 1曲リピート

再生中の曲を繰り返し再生します。



ランダムリピート  
ディスクの全曲をランダムに再生し続けます。



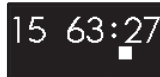
### ランダム1回

ディスクの全曲をランダムに一回ずつ再生して停止します。



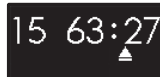
## 停止する

再生中にSTOP/EJECTボタンを押すと再生が停止します。



## ディスクを取り出す

停止中にSTOP/EJECTボタンを押すとディスクが排出されます。



## デジタル入力を聴く

### OPTICAL入力の音声を聴く

INPUTボタンで「Opt」を選択します。ディスプレイに「Opt」が表示され、アナログ出力端子からOPTICAL入力の音声が出力されます。

デジタル出力端子（OPTICAL、COAXIAL）からはCDのデジタル音声が出力されます。（CDを再生中の場合。）デジタル出力端子からOPTICAL入力の音声を出力する場合は、デジタル出力設定（SETTING DIGITAL OUT）を行って下さい。



### COAXIAL入力の音声を聴く

INPUTボタンで「Coax」を選択します。ディスプレイに「Coax」が表示され、アナログ出力端子からCOAXIAL入力の音声が出力されます。

デジタル出力端子（OPTICAL、COAXIAL）からはCDのデジタル音声が出力されます。（CDを再生中の場合。）デジタル出力端子からCOAXIAL入力の音声を出力する場合は、デジタル出力設定（SETTING DIGITAL OUT）を行って下さい。



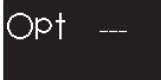


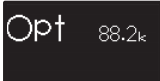



## デジタル音声信号のフォーマットについて

入力できるデジタル音声信号（S/PDIF）のフォーマットはリニアPCM（LPCM）方式です。AC-3、DTSなどは入力できません。

OPTICAL入力端子には、サンプリング周波数44.1kHzから96kHzまでのPCMデータが入力できます。

COAXIAL入力端子には、サンプリング周波数44.1kHzから192kHzまでのPCMデータが入力できます。

## サンプリング周波数の表示

	信号が入力されていないか、または信号が正しく検出されていません。		サンプリング周波数44.1kHzの信号が入力されています。
	サンプリング周波数48kHzの信号が入力されています。		サンプリング周波数88.2kHzの信号が入力されています。
	サンプリング周波数96kHzの信号が入力されています。		サンプリング周波数176.4kHzの信号が入力されています。
	サンプリング周波数192kHzの信号が入力されています。		

## エンファシスの表示

プリエンファシス処理された信号が入力されると、「Emphasis」が表示され、ディエンファシス処理されたアナログ音声が出力されます。デジタル出力音声はディエンファシス処理されません。



## リモコンで音量を変える

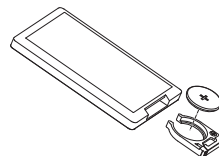
+ボタンを押すと音量が上がり、+ボタンを押し続けると音量が連続して上がります。-ボタンを押すと音量が下がり、-ボタンを押し続けると音量が連続して下がります。本体の操作で音量を変える場合は、音量設定 (SETTING VOLUME) を行って下さい。デジタル出力端子の出力音量を変えることはできません。



音量は0から121までの122段階に調節でき、場出荷時は100に設定されています。音量を変更すると、ディスプレイに音量ゲージと数値が表示されます。音量が100に設定されている場合は数秒後に音量表示が消えます。音量が100以外に設定されている場合は音量ゲージと数値が常に表示されます。



リモコンのボタンを押しても反応しなくなったときは電池 (コイン形リチウム電池 CR2025またはCR2032) を交換して下さい。





# 各種設定

## 設定モードに入る

INPUTボタンを約2秒押し続けると、各種機能を設定できる設定モードになります。  
INPUTボタンで設定項目が切り替わります。設定値は電源を切っても記憶されます。  
REWボタンまたはFWDボタンで設定値を変更し、STOP/EJECTボタンで工場出荷時の設定値に戻します。

## 音量を設定する

ANALOG OUT端子の音量値を0~121の間で変更します。



## 輝度を設定する

ディスプレイの表示輝度を0~255の間で変更します。



## スクリーンセーバー（画面の焼き付き防止）を設定する

OFF：スクリーンセーバーを無効にします。  
ON：最後の操作からおおよそ1時間後にスクリーンセーバーが起動します。  
DISPLAY OFF：最後の操作から約10秒後にディスプレイ表示が消えます。



## デジタル出力を設定する

CD：選択中の入力に関わらず、常にCDのデジタル音声を出力します。  
DIGITAL IN：選択中入力のデジタル音声を出力します。



## 起動時の自動再生を設定する

AUTO PLAY OFF：電源投入時に自動再生しません。  
AUTO PLAY ON：電源投入時にCDが選択されていると自動で再生します。  
(電源を切る際にCDが選択されている必要があります。)




## CD挿入時の自動再生を設定する

READ TOC ONLY：CDが挿入されても読み込み以外は何も行いません。  
(Opt、Coaxを選択中はそのままOpt、Coaxをお聴き頂けます。)  
OFF：CD挿入時、入力がCDに切り替わります。自動再生は行いません。  
ON：CD挿入時、自動で再生します。



# お困りの時は

## CD が読み込めない

原因として主に考えられること	対処方法
CD に異常がある。	ディスク表面に傷や汚れがないか確認して下さい。 CD-DA 規格のオーディオ CD であることを確認して下さい。 CD-DA 規格のディスクには右のロゴが印字されています。 
再生可能なディスクではない。	SACD、DVD、Blu-ray ディスクは使用できません。 CD-R、CD-RW はディスクの劣化により読み込めないことがあります。 本機の CD ユニットはスロットイン式スリムタイプのため、トレイ式の CD ユニットよりも劣化したディスクを読み込みにくい場合があります。
機械的な動作音大きい。	本機の CD ユニットはスロットイン式スリムタイプのため、トレイ式の CD ユニットよりも動作音大きい傾向があります。

## 入力信号が認識されない (Opt/Coax)

原因として主に考えられること	対処方法
出力側の機器に問題がある。	出力側の機器の状態をご確認下さい。
リニア PCM (LPCM) データではない。	出力側の機器の設定をご確認下さい。AC-3 や DTS など、LPCM 以外の音声データは認識できません。
ケーブルに異常がある。	ケーブルがきちんと差し込まれているかご確認下さい。 ケーブルが断線していないかご確認下さい。

## 音声が出力されない / 音量が小さい

原因として主に考えられること	対処方法
音量設定が小さくなっている	音量設定値をご確認下さい。

## アフターサービス

### 保証期間中は

修理をご希望の際は保証書をご提示の上、下記の事項を添えてお買い上げの販売店にご依頼下さい。

- お名前
- お電話番号
- ご住所
- メールアドレス
- 製品名「SWL-CA1」
- シリアル番号
- 故障状況とご使用の環境

### 保証期間が過ぎた時は

修理が可能な場合は有償にて承ります。お買い上げの販売店へご相談下さい。

### その他のお問い合わせ

ご不明な点などについては、下記アドレス宛にメールにてご相談下さい。

城下工業株式会社サポート係  
userinfo@shiroshita.com

# 仕様

## 仕様

型番	SWL-CA1		
電源	DC 12V ~ DC 15V 1A		
消費電力	9.6W		
寸法	幅 290mm 高さ 30mm 奥行き 194mm (突起物含まず) 幅 290mm 高さ 38mm 奥行き 208mm (突起物含む)		
重量	約 1.6kg		
動作温度環境	5°C ~ 40°C		
入出力端子	入力	OPTICAL COAXIAL	角形光デジタル (TOS-Link) RCA ピンジャック
	出力	ANALOG OPTICAL COAXIAL DC OUT	RCA ピンジャック L/R 角形光デジタル (TOS-Link) RCA ピンジャック USB A タイプ
デジタル入力	信号規格	S/PDIF (IEC-60958) 2ch リニア PCM	
	量子化ビット数	16bit 20bit 24bit	
	サンプリング周波数	4.41k、48k、88.2k、96k、176.4k、192kHz	
デジタル出力	信号規格	S/PDIF (IEC-60958) 2ch リニアPCM	
	量子化ビット数	16 bit	
	サンプリング周波数	44.1kHz	
アナログ出力	最大出力	19.2 dBm (7.1 Vrms)	※デジタルフルスケール時
	工場出荷時	8.7 dBm (2.1 Vrms)	※デジタルフルスケール時
DC 出力	最大出力	DC 5V 0.4A	
付属品	AC アダプター	DC12V 1A 1台	
	リモコン	1台	
	ステレオケーブル	1本	
	取扱説明書 (本書)	1部	
	保証書	1枚	

外観および仕様は予告なく変更することがあります。

# SOUNDWARRIOR

SHIROSHITA

城下工業株式会社

SHIROSHITA INDUSTRIAL CO.,LTD.

386-0015 長野県上田市常入1-1-58  
<http://soundwarrior.jp>



**Facebook**

<https://www.facebook.com/SoundWarrior.jp>



**Twitter**

[https://twitter.com/SoundWarrior\\_jp](https://twitter.com/SoundWarrior_jp)



**Instagram**

[https://instagram.com/soundwarrior\\_jp](https://instagram.com/soundwarrior_jp)

Printed in Japan  
18QA0356CN